

2019年8月7日

各 位

井関農機株式会社

## 2019年12月期 第2四半期連結業績 補足資料

(2019年1月1日～2019年6月30日)

## 1. 連結第2四半期損益

(億円、%)

	2018/12期 第2四半期 累計実績	2019/12期 第2四半期 累計実績	前年同期比増減		2019/12期 第2四半期 累計予想※	予想比 増減
			金額	率		
売上高	822	775	△ 47	△ 5.7	818	△ 43
国内	639	599	△ 40	△ 6.2	648	△ 49
海外	183	176	△ 7	△ 3.9	170	+ 6
売上総利益	235	225	△ 10	△ 4.3	237	△ 12
粗利率	28.6%	29.1%	+0.5%	—	29.0%	+0.1%
販管費	213	209	△ 4	—	218	△ 9
営業利益	22	16	△ 6	△ 25.5	19	△ 3
営業利益率	2.7%	2.1%	△0.6%	—	2.3%	△0.2%
金融収支	△ 4	△ 4	0	—	△ 4	0
他営業外	0	△ 4	△ 4	—	1	△ 5
経常利益	18	8	△ 10	△ 53.8	16	△ 8
経常利益率	2.2%	1.1%	△1.1%	—	2.0%	△0.9%
特別利益	1	1	0	—	0	+ 1
特別損失	△ 1	△ 1	0	—	△ 1	0
税前四半期純利益	18	8	△ 10	△ 57.3	15	△ 7
税、税調整額他	△ 2	△ 1	+ 1	—	△ 1	0
親会社株主に帰属する 四半期純利益	16	7	△ 9	△ 59.6	14	△ 7

(売上内訳)

(億円)

	2018/12期 第2四半期 累計実績	2019/12期 第2四半期 累計実績	前年同期比 増減	2019/12期 第2四半期 累計予想※	予想比 増減
作業機	118	120	+ 2	124	△ 4
補修用部品	68	69	+ 1	71	△ 2
修理収入	26	26	0	28	△ 2
農機関連計	495	481	△ 14	524	△ 43
施設工事	33	13	△ 20	15	△ 2
その他農業関連	111	105	△ 6	109	△ 4
国内計	639	599	△ 40	648	△ 49
北米	56	64	+ 8	60	+ 4
欧州	60	59	△ 1	54	+ 5
中国	9	1	△ 8	1	0
アセアン	20	9	△ 11	12	△ 3
その他	11	21	+ 10	21	0
製品計	156	154	△ 2	148	+ 6
補修用部品	13	12	△ 1	13	△ 1
その他	14	10	△ 4	9	+ 1
海外計	183	176	△ 7	170	+ 6
売上高計	822	775	△ 47	818	△ 43

※2019/12期 第2四半期累計予想：2019年2月13日公表予想

(1) 前年同期比

① 売上高：775 億円（前年同期比 △47 億円、△5.7%）

国内は、前年同期に大型施設工事があった反動と農機製品の減少により減収。

海外は、北米堅調に加え東アジア向け出荷が増加するも、中国・アセアンの現地在庫調整により全体では微減。

i) 国内売上高：599 億円（前年同期比 △40 億円、△6.2%）

農機製品は、コンバインが前年並みに推移するも、トラクタ、田植機が減少。作業機、部品は、引続き堅調に推移し、農機関連全体では △14 億円。施設工事は、前年同期に大型工事があった反動により △20 億円。

ii) 海外売上高：176 億円（前年同期比 △7 億円、△3.9%）

北米は、新商品の小型トラクタが好調に推移し、+8 億円。

欧州は、引続き堅調に推移。但し、為替円高の影響により前年並み。

中国は、現地在庫調整に伴う田植機半製品の出荷減等により、△8 億円。

アセアンは、現地在庫調整に伴うタイ向けトラクタの出荷減およびインドネシア政府入札減により、△11 億円。

その他地域は、東アジア向けの出荷増等により、+10 億円。

② 収益：減収による粗利益減少を前期特殊要因がなくなったことによる粗利率改善と販管費の削減により一部吸収。

i) 営業利益：16 億円（前年同期比 △6 億円）

ii) 経常利益：8 億円（前年同期比 △10 億円）

iii) 四半期純利益：7 億円（前年同期比 △9 億円）

営業利益は、減収による粗利益減少があった一方、前期特殊要因\*がなくなったことによる粗利率改善と販管費の削減により、△6 億円。

経常利益は、持分法投資損失の計上等により、△10 億円。

四半期純利益は、△9 億円。

※子会社合併に伴う退職給付費用の一時的負担および施設不採算工事

(2) 予想比

① 売上高：予想比△43 億円（国内△49 億円、海外+6 億円）

i) 国内売上高は、主にトラクタが予想を下回り農機関連が△43 億円、全体で△49 億円。

ii) 海外売上高は、北米、欧州が堅調に推移したことにより、+6 億円。

② 収益：営業利益は、売上未達による粗利益減少を販管費の削減により一部吸収。経常利益以下では、中国市場低迷による持分法投資損失を計上。

i) 営業利益：予想比 △3 億円

ii) 経常利益：予想比 △8 億円

iii) 四半期純利益：予想比 △7 億円

営業利益は、売上未達による粗利益減少を販管費の削減により、△3 億円。

経常利益は、持分法投資損失の計上により、△8 億円。

四半期純利益は、△7 億円。

## 2. 2019年12月期 業績予想

当第2四半期は、海外売上が予想を上回り推移しているものの、国内売上が予想を下回り、売上高全体で予想比未達、収益も未達となりました。今後においては、売上高について、国内は、足許で第2四半期までは鈍かった消費増税に向けた駆け込み需要の動きが見られ、大型農機を中心に挽回を図ってまいります。海外は、北米市場の続伸に加え、他地域への新商品投入効果を見込んでおります。収益面については、販管費の削減継続により収益の確保に努めてまいります。以上のことから2019年2月13日に公表しました通期の業績予想は、修正しておりません。

### 【2019年12月期通期連結業績予想】

(2019年1月1日～2019年12月31日) (億円、%)

	2018/12期 実績	2019/12期 業績予想	前期比増減	
			金額	率
売上高	1,560	1,640	+80	+5.2
営業利益	32	40	+8	+25.8
経常利益	26	26	0	△1.1
親会社株主に帰属する 当期純利益	11	16	+5	+46.7

\* 通期想定為替レート：対米ドル=108円（継続）、対ユーロ=125円（継続）

以上

#### \* 業績予想の適切な利用に関する説明

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。